

2010年(平成22年)10月26日 火曜日

(8)

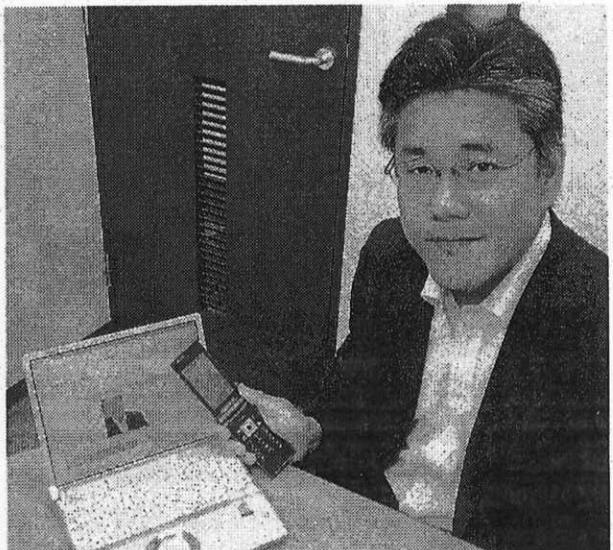


インターネットを活用して言葉の財産を家族に残すサービス「e遺言」を展開している電子遺言バンク (<http://www.eiyuigou.com>) は、同サービスに「携帯登録」と「自分史ナビ」の二つの機能を追加。1万人の利用者獲得を目指す。

電子遺言バンク

(大阪市北区梅田1の1の3)

藤田 昌三社長



携帯登録機能の説明をする藤田社長

所、死去を伝える対象となる交遊記録、家族へのメッセージなどを写真や音声などとともにサーバー上で保管し、利用者の死後にセキュリティを解除

ネットに言葉の財産を

除して受取人に届けるサービス。利用料は月額525円で、自由に更新できる。法的拘束力はなく

遺産分割などには「一切触れない」(藤田社長)。

同サービスのビジネスモデルとしての優位性が認められ、大阪商工会議所が中小企業の新規事業やベンチャー企業を支援する制度「大商EVE」の支援企業に認定されている。

「携帯登録」「自分史ナビ」追加

新機能の「自分史ナビ」は、例文に従って自分史を作成できるサービスで、「文書を書く」ことが苦手な人にも気軽に利用してもらえるよう」(藤田社長)に工夫した。「携帯登録」では、携帯電話のボイスメモに吹き込んで音声登録したり、カメラで撮影した画像を登録したりできる。

藤田社長は「生前には伝えきれないこと、死後につれてほしいこと、生きている間はなかなか言えない感謝の言葉などを残してもらえば」とし、団塊世代のホワイトカラーをターゲットに京阪神を中心とした展開を進め方針だ。

(木下功)

10月26日(火)
2010年(平成22年)

朝刊1部

80円

1カ月 1,995円

発行所

新日本海新聞社
大阪本社

T541-0059 大阪市中央区博労町2-6-8
電話 (06)6120局
総務1800 営業2310
販売2311 編集2313
FAX(06)6120-1811